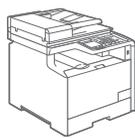


かんたん 設置ガイド

Satera

MF726Cdw / MF722Cdw

1



はじめに

➡ 2ページ

2



設置する

➡ 4ページ

3



パソコンと接続する
ソフトウェアをインストールする

➡ 14ページ

4



ファクスの設定をする

➡ 28ページ



困ったときには ➡ 32ページ

➡ 最初にお読みください

ご使用前に必ず本書をお読みください。安全にお使いいただくための注意事項は「電子マニュアル」に記載されていますので、あわせてお読みください。本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

➡ Mac OSをお使いのお客様へ

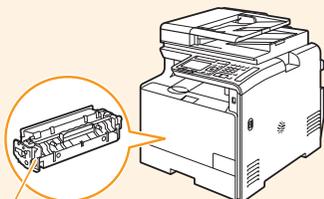
Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください(詳細は2ページ)。

商品別OS対応状況はcanon.jp/supportを、最新ドライバーのダウンロードについてはcanon.jp/downloadをそれぞれご覧ください。

入っているものを確認しよう

足りない! 壊れている!
➔ お買い求めの販売店へ

○ 本体



スタートトナーカートリッジが付いています

○ ユーザーソフトウェア/ 取扱説明書 DVD-ROM



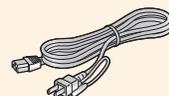
○ かんたん設置ガイド



○ かんたん操作ガイド



○ 電源コード



○ LANケーブル



○ 電話コード (MF726Cdw)



○ ハンドセットクランプ (MF726Cdw)



○ 保証登録のお願い



○ サテラレーザー複合機 サポートガイド



ユーザーソフトウェア/取扱説明書DVD-ROMに 入っているものは?

MFドライバー、MF Scan Utility、各種ソフトウェア、電子マニュアル、MFドライバーインストールガイドが入っています。

MFドライバー

プリンター、ファクス (MF726Cdwのみ)、スキャナーのそれぞれのドライバーのほかにも MF Network Scanner Selector (ネットワーク経由でスキャンするときを使う) がひとまとめになっています。

MF Scan Utility

読み込んだデータを指定したアプリケーションに転送して表示させたり、Eメールに添付して送信したりすることもできます。詳細についてはMF Scan Utilityのヘルプを参照してください。

カートリッジ残量お知らせツール

インストールしたパソコンに、トナーカートリッジの状態をお知らせ (ポップアップ表示) するアプリケーションです。そこからカートリッジ購入サイトにアクセスすることもできます。

各種ソフトウェア

読取革命Lite、ファイル管理革命Lite、Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタントが入っています。

※ソフトウェアのOSごとの対応状況は、「MFドライバーインストールガイド」をご確認ください。

USBケーブルは付属していません

USBケーブルは、右のマークがあるケーブルをご使用ください。



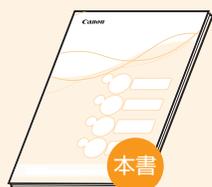
Mac OSをお使いのお客様へ

Mac OS用のドライバーは、ご購入の時期によっては付属されていない場合があります。最新ドライバーがキヤノンホームページに順次掲載されますのでダウンロードしてお使いください。その際、OSの対応状況についても最新情報をご確認ください。なお、ドライバーのインストール手順や操作方法については、「MFドライバーインストールガイド for Mac」をご覧ください。

※ 商品別OS対応状況はcanon.jp/supportを、最新ドライバーのダウンロードについてはcanon.jp/downloadをそれぞれご覧ください。

■ 付属しているマニュアル

印刷物のマニュアル



かんたん設置ガイド
設置時の設定やソフトウェアのインストール手順を説明しています。



かんたん操作ガイド
製品の基本的な操作について説明しています。本機の近くに置いてご利用ください。

DVD-ROMに入っているマニュアル



電子マニュアル (HTML形式)

本機のすべての機能を説明しています。検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

電子マニュアルを起動しよう

- Windowsの場合
DVD-ROMをパソコンにセットし、[マニュアル] → [電子マニュアル]の順にクリック。
- Macの場合
DVD-ROMから保存した [MF Guide] フォルダの中にある [index.html] をクリック。



MFドライバーインストールガイド (HTML形式)

DVD-ROMに入っているMFドライバーやソフトウェアなどのインストール手順を説明しています。



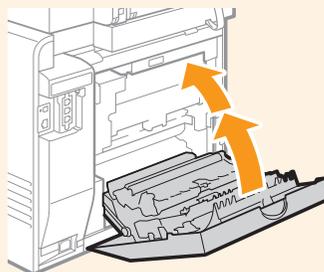
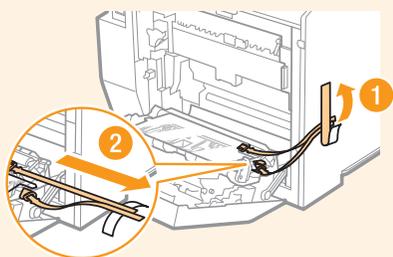
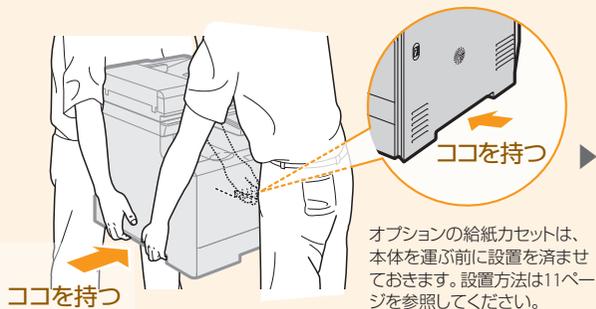
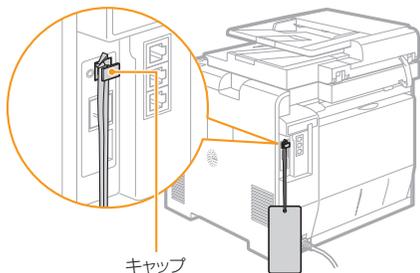
Send設定ガイド (PDF形式)

スキャンした画像をEメールで送信したり、共有フォルダーに保存したりするときにお読みください。準備や設定について説明しています。

設置して梱包材を取り外そう

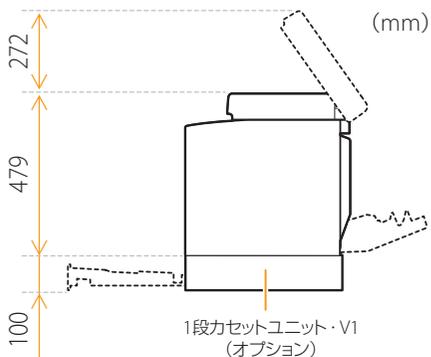
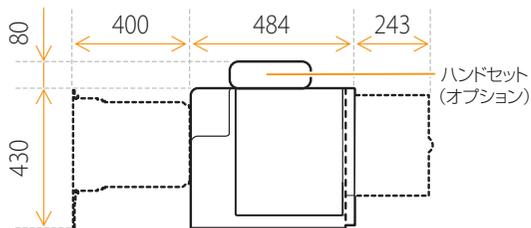
設置後は、テープ（オレンジ色）などの梱包材と保護材をすべて取り外します。梱包材や保護部材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加・削除されることがあります。

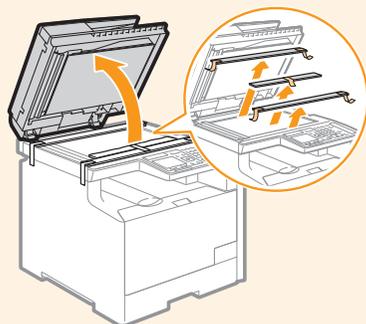
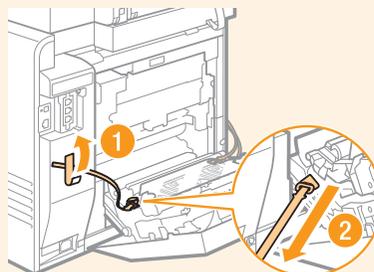
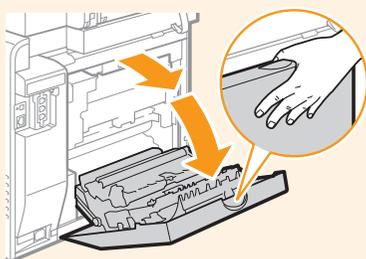
USB ポートのキャップは取り外さない!



■ このような場所に設置しよう

以下の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください（周囲は100 mm以上のスペースをあけてください）。





Check!

梱包材はすべて取り外しましたか？



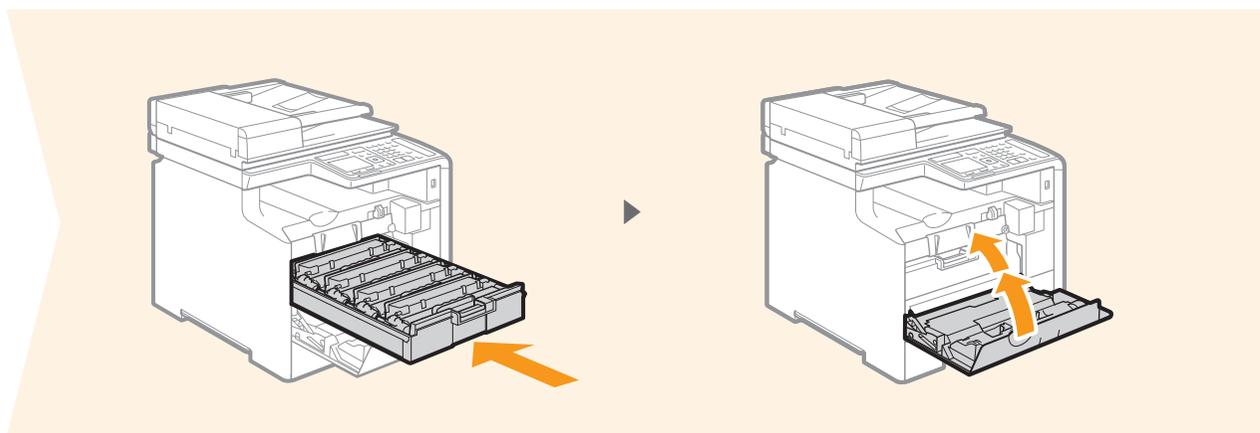
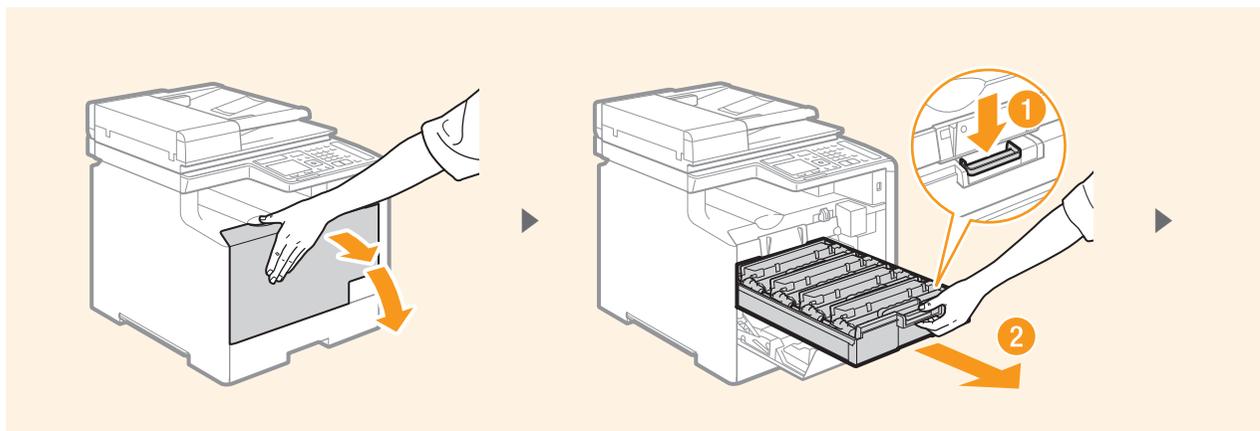
つぎのような場所には設置しないで!

- アルコール、シンナーなど引火性溶剤の近く ▶ 本体内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因。
- 医療用電気機器の近く ▶ 本機からの電波が誤動作の原因になる場合あり。
- 不安定な場所、振動のある場所、通風口をふさぐような場所、湿気やホコリの多い場所、屋外や直射日光の当たる場所、高温になる場所、火気に近い場所、風通しの悪い場所 ▶ ケガ、火災、感電の原因。

本機からはオゾンが発生します

本機を使用するとオゾンなどが発生しますが、人体に影響ありません。ただし、長時間使用したり大量にプリントしたりする場合は、快適な作業環境を保つため換気してください。本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

トナーカートリッジを準備しよう



付属のスタートナーカートリッジで何枚印字できる？

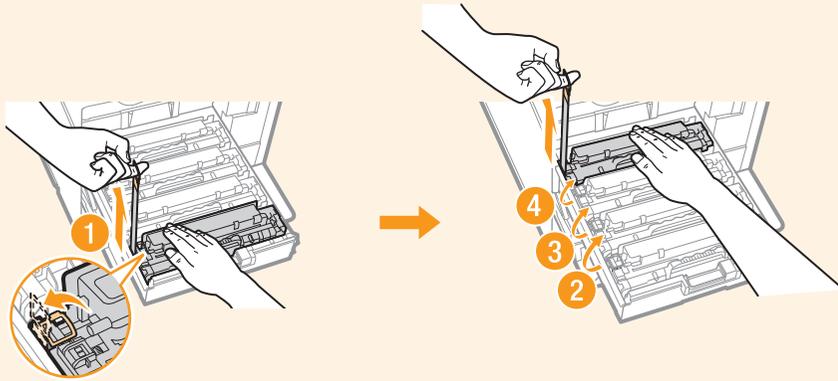
お買い上げ時に付属されているスタートナーカートリッジの平均印字可能枚数*はブラックで約1,200枚、イエロー・マゼンタ・シアン^①の合成平均枚数で約1,400枚です。

なお交換用トナーカートリッジの平均印字可能枚数*はブラックで約3,400枚、イエロー・マゼンタ・シアン^①の合成平均枚数で約2,900枚です。

* ISO/IEC 19798 に準拠した測定方法で、A4 サイズ普通紙を使用した平均値。印字濃度は工場出荷値。

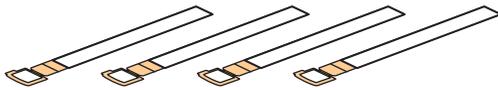
交換用トナーカートリッジを購入するには

本機をお買い上げの販売店または、お近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。



Check!

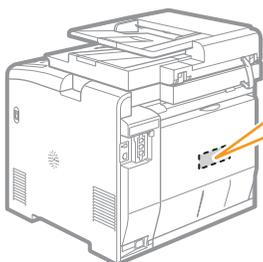
梱包材はすべて取り外しましたか？



シーリングテープ

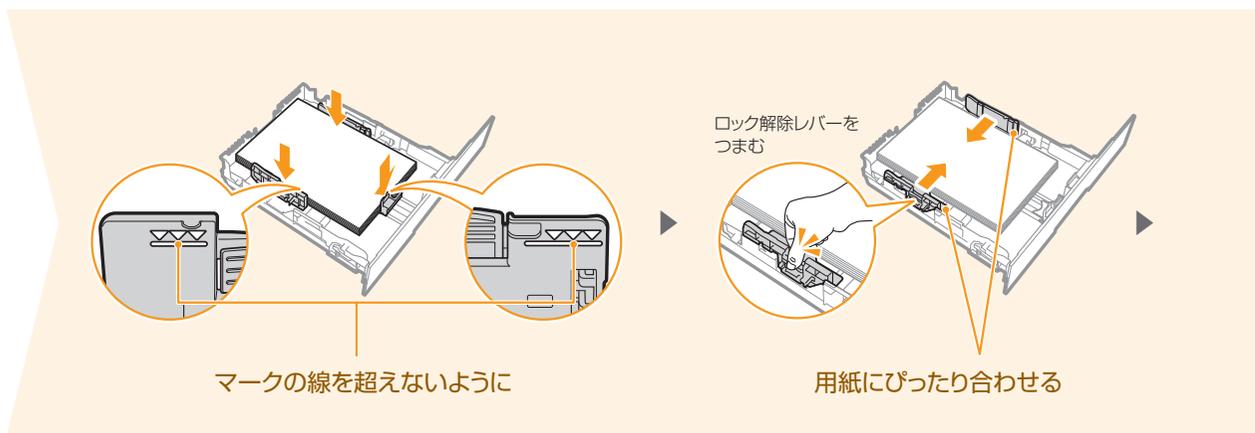
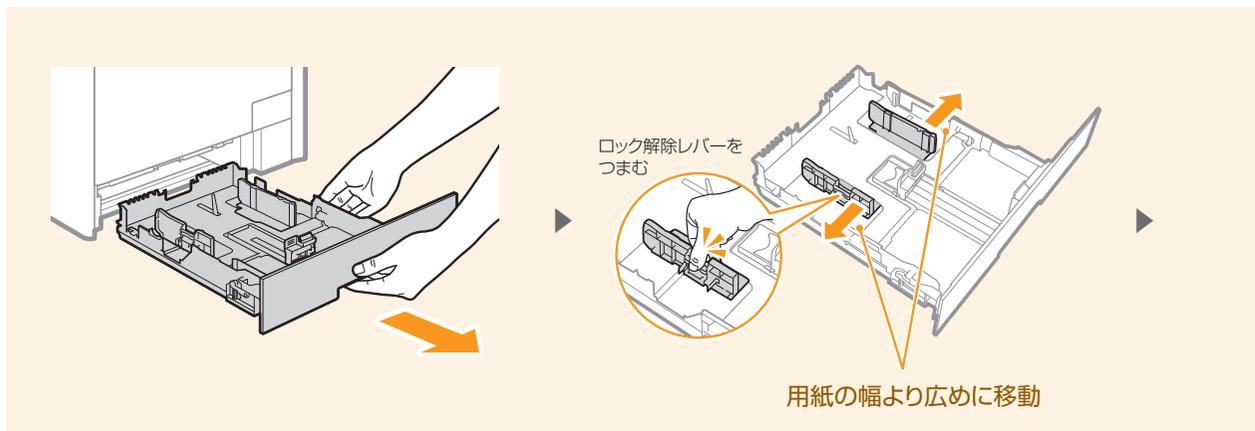
シリアル番号について

お問い合わせの際にはシリアル番号が必要です。シリアル番号は、本体背面のラベルに記載されています。



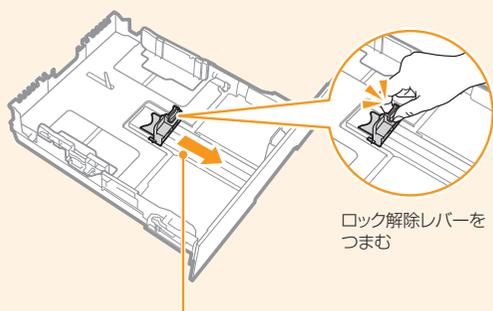
アルファベット3文字と5桁の数字がシリアル番号です。

用紙をセットしよう

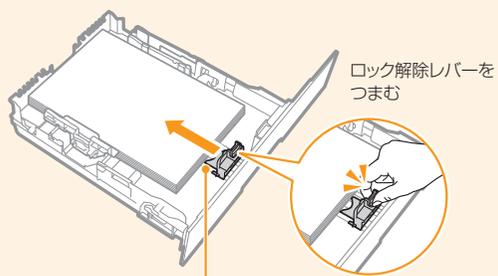
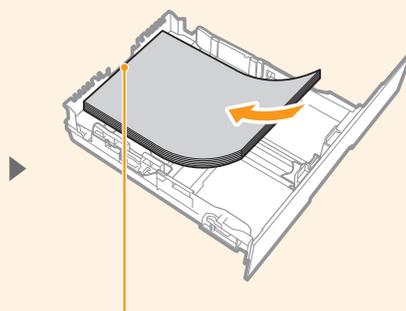


■ A4サイズ以外の用紙をセットする ➡ 44ページへ

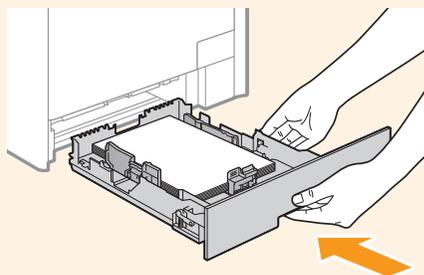
上で説明している手順はA4サイズの用紙をセットする方法です。A4サイズ以外の用紙をセットするときは、初期設定がすべて終わってから、用紙のサイズと種類を設定してください。



用紙の長さより広めに移動

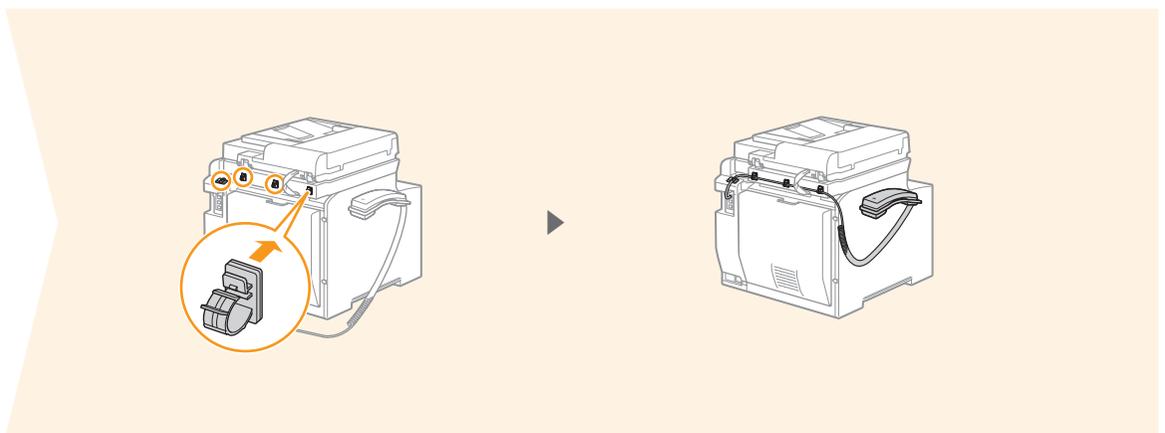
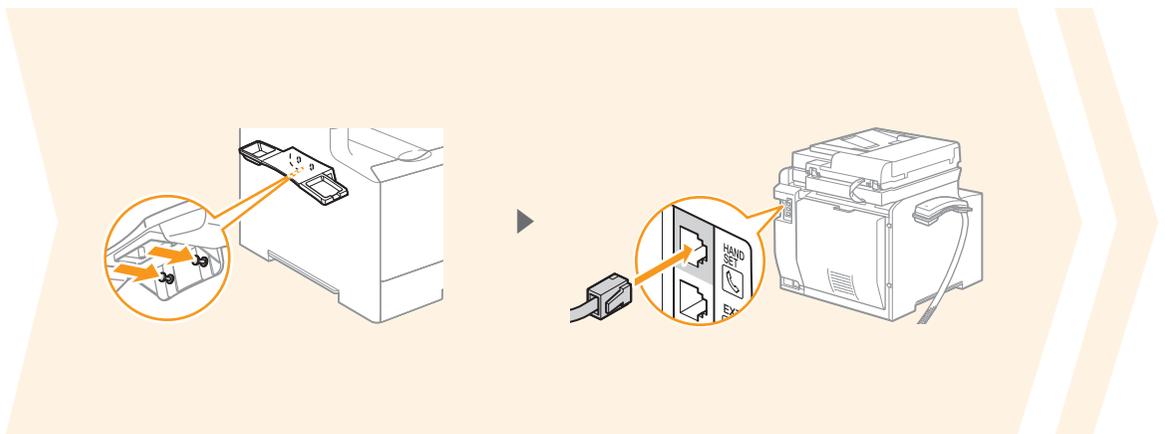
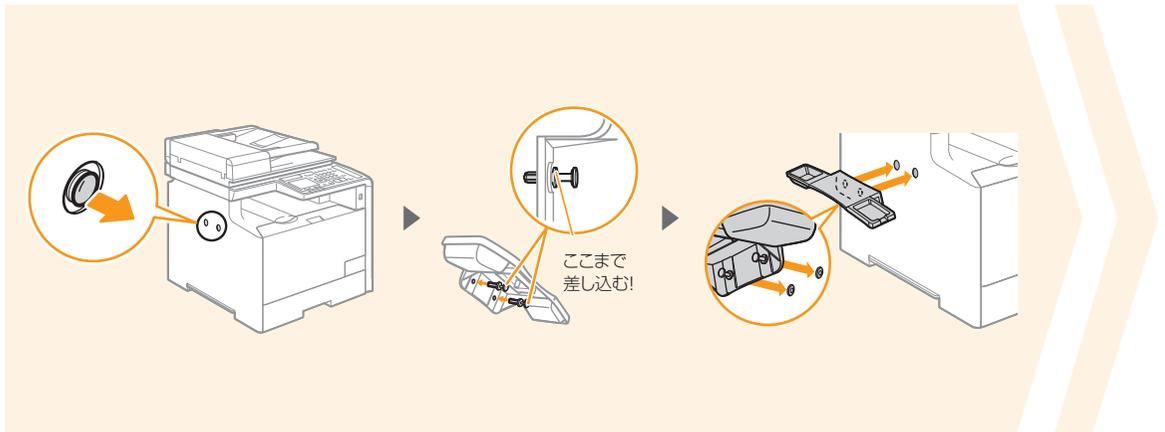


用紙にぴったり合わせる

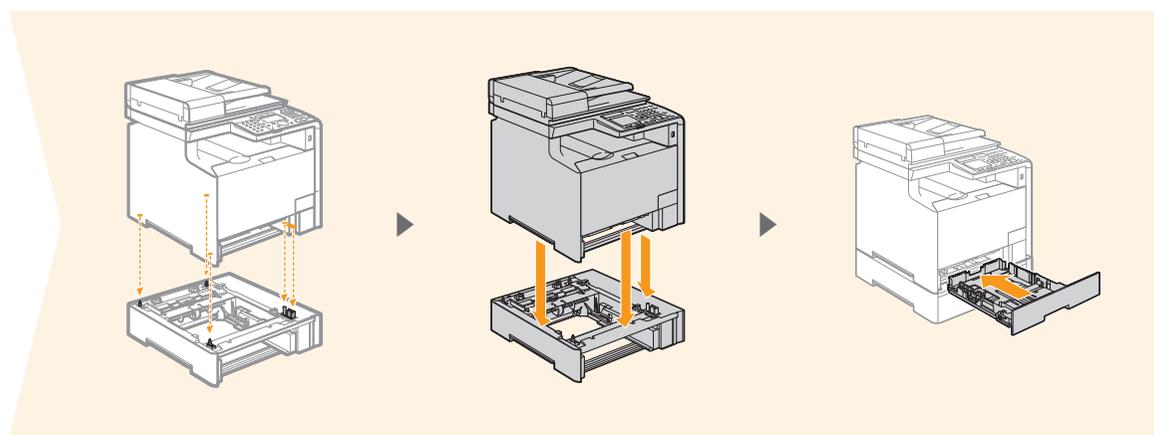
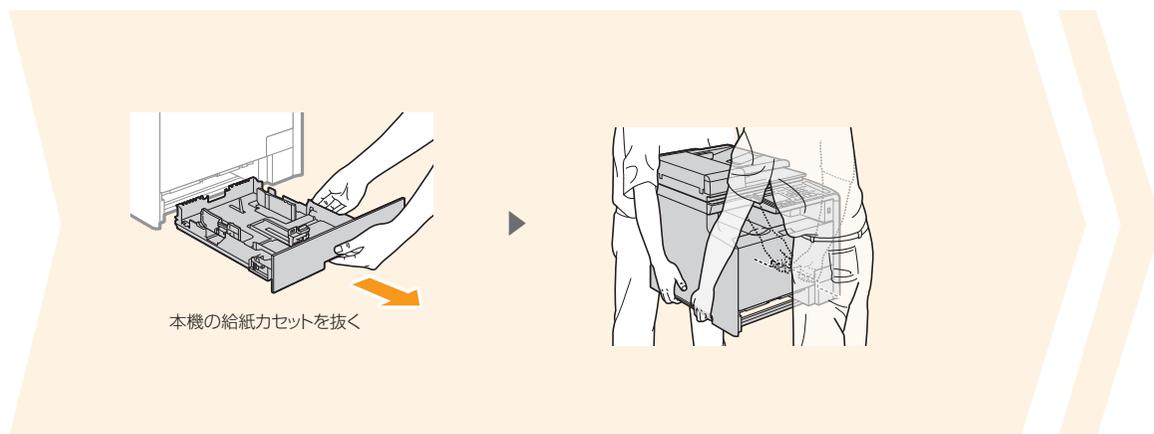
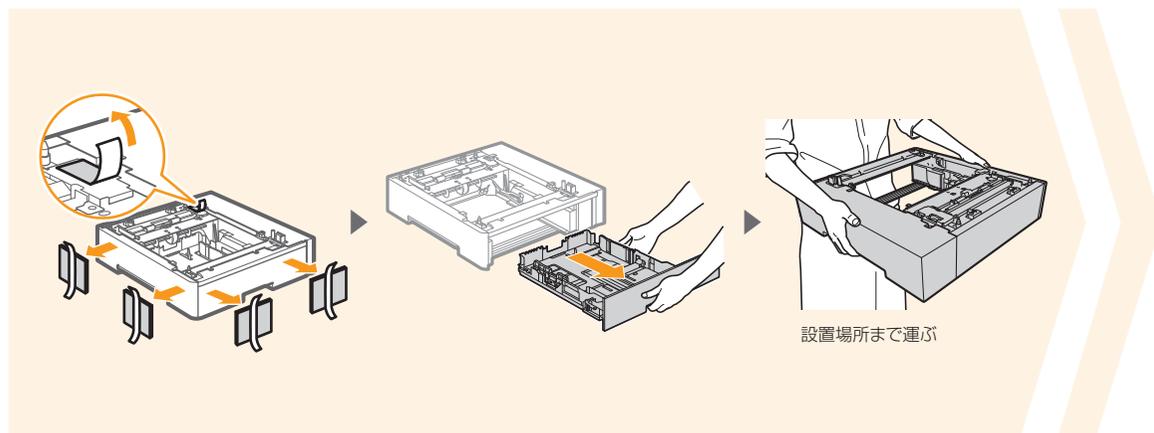


オプションを接続しよう

■ ハンドセット (MF726Cdw)

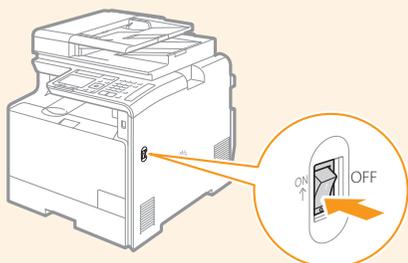


■ 1段カセットユニット・V1

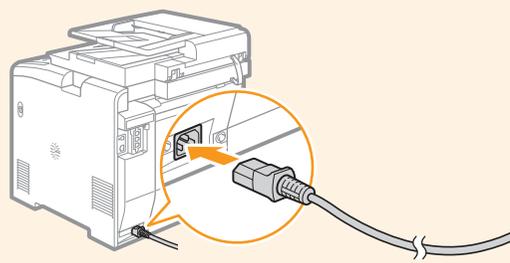


- 1 はじめに
- 2 設置する
- 3 パソコンと接続する/ソフトウェアをインストールする
- 4 ファクスの設定をする

初期設定をしよう



電源が入っていないことを確認



内容を確認して<次へ>をタップする

後ろカバーを開きオレンジ色の梱包材の取忘れがないか確認してください。

次へ

カセット1に用紙をセットしたか確認してください。

前へ

次へ

- 後ろカバーを開いてオレンジ色の梱包材を取り除く
- トナーカートリッジのタブ/テープの取り忘れがないか確認する
- カセット1に用紙をセットしたか確認する

日時を入力して<次へ>をタップする

現在日時の設定

2015/10/10 10:00

(0:00~23:59)

確定

- ◀または▶でカーソルを移動
- ▲または▼をタップするか、テンキーで数字を入力

リモートUIアクセス暗証番号を設定する

リモートUIを使用する場合、第三者からの不正アクセスを防止するために、リモートUIアクセス暗証番号の設定を推奨します。

はい

いいえ

<いいえ>

「色補正するかどうかを選択する」(13ページ)

<はい>

リモートUIアクセス暗証番号

確定

- テンキーで数字を入力(7桁以内の半角数字)
- <確定>をタップする

暗証番号(確認入力)

確定

- 左記で入力したのと同じ暗証番号を再入力
- <確定>をタップする

※ あとからリモートUIアクセス暗証番号の設定をするときは、電子マニュアル「リモートUIの暗証番号を設定する」を参照してください。

パソコンとの接続方法を決めよう

通信環境やお使いの機器に合わせて次の3つから選んでください。パソコンと接続しないでご使用になる場合は、「ファクスの設定をしよう」(28ページ)に進みます。



有線LANで接続する ※パソコンは、有線LANまたは無線LANでルーターに接続してください。

有線LANルーターを介して、本機とパソコンを接続します。
LANケーブルを使って、本機を有線LANルーターに接続してください。



USBで接続する

USBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



無線LANで接続する ※パソコンは、有線LANまたは無線LANでルーターに接続してください。

無線LANルーターを介し、無線通信(電波)によって本機とパソコンを接続します。お使いの無線LANルーターに右記のようなマークの付いたボタンがあるかどうか確認してください。ボタンのある/なしによって操作が分かれます。



ボタンがある

いずれかのマークの付いたボタンがある場合は、それを押すだけで簡単に設定することができます。

ボタンがない

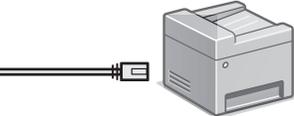
自分でSSID(ネットワーク名またはアクセスポイント名)を選び、ネットワークキー(暗号化キー)を設定します。



モバイル機器で直接接続する(MF726Cdw)

本機とモバイル機器を、無線でダイレクト接続接続(アクセスポイントモード)することもできます。➡電子マニュアル「ダイレクト接続(アクセスポイントモード)でかんたん無線接続」





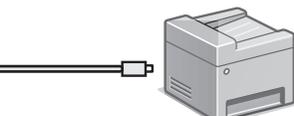
<いいえ>をタップする

無線LANを使用してPC接続
しますか?
設定は後からでも可能です。

はい いいえ

有線LANで接続する

➡ 次のページへ
進む



<いいえ>をタップする

無線LANを使用してPC接続
しますか?
設定は後からでも可能です。

はい いいえ

USBで接続する

➡ 18ページへ
進む



<はい>を選択して<OK>をタップ

無線LANを使用してPC接続
しますか?
設定は後からでも可能です。

はい いいえ

※あとから無線LANの設定をするときは、
「無線LANで接続しよう」(20ページ)を参
照してください。

ボタンがある

➡ 22ページの
手順6へ進む

ボタンがない

➡ 25ページの
手順6へ進む

有線LANで接続しよう

1 まず確認してください

ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。

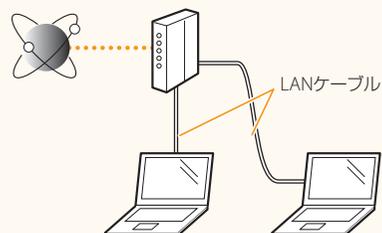
① LANケーブルによって、パソコンと有線LANルーターは正しくつながっているか？

詳しくはそれぞれの機器に付属している取扱説明書をご覧くださいか、またはメーカーにお問い合わせください。

② パソコン側のネットワーク設定は完了しているか？

設定が正しく完了していないと、以降の手順を行っても有線LANのネットワークでご使用になることができません。

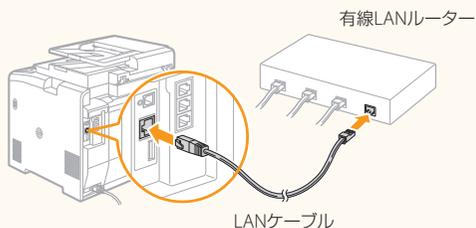
インターネット 有線LANルーター



ご注意

- 本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。
- セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- オフィスでLAN接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

2 LANケーブルを接続する



本機のIPアドレスが変更された場合

本機とパソコンが同一サブネット上であれば、接続は維持されます。

*IPアドレスを手動で設定する場合

パソコンのIPアドレスに固定IPアドレスを設定している場合は、手動で固定IPアドレスを設定してください。

- ➔ 電子マニュアル「IPv4アドレスを設定する」
「IPv6アドレスを設定する」

接続したらそのまま約2分間待つ
この間に自動的にIPアドレスが設定されます*。

ご注意

- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合、LAN上の機器はすべて100BASE-TXに対応している必要があります。

3 ソフトウェアをインストールする

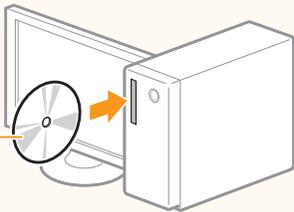
MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

ご注意

ネットワーク環境がIPv6の場合は、この手順でソフトウェアをインストールすることはできません。MFドライバーインストールガイドの「WSDを使用するときのインストール」をご覧ください。

Windows

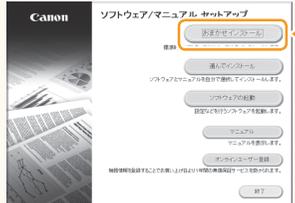
1



付属のDVD-ROM

▼

2



Click!

- [選ぶでインストール] を選択すると、読取革命Lite、ファイル管理革命Liteをインストールできる。

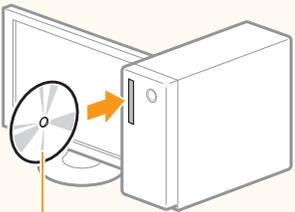
使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。
詳細は画面の説明をご覧ください。

画面が正しく表示されないとき
DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:¥Mlnst.exe**」を検索する。
** DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

* ドライバーは、キヤノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

Mac

1



付属のDVD-ROM*を入れ、
画面上のDVD-ROMアイコンをダブルクリック

▼

2



ダブルクリック

これで有線LANによるパソコン接続は終了です! ➡ ファクス設定 (28ページ) へ進む

USBで接続しよう

1 ソフトウェアをインストールする

MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

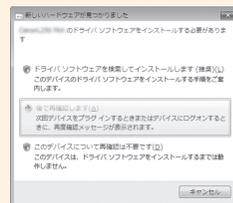
まだUSBケーブルは接続しないでください

万一、USBケーブルを接続してしまったら

パソコンからUSBケーブルを抜き、手順①/①からやりなおす。

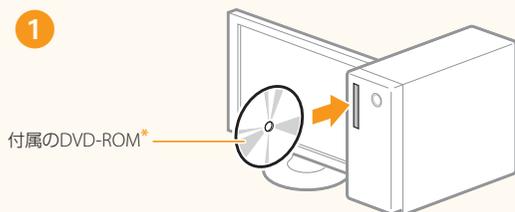
・Windows Vistaの場合、右のようなダイアログボックスが表示されたら、パソコンからUSBケーブルを抜き、キャンセルをクリックして手順①からやりなおす。

* USBケーブルを抜いてダイアログボックスが閉じた場合は手順①からやりなおす。



Windows

1



2



- 画面の指示に従ってUSBケーブルを接続する
➡ 「USBケーブルを接続する」(19ページ)
- [選んでインストール] を選択すると、読取革命Lite、ファイル管理革命Liteをインストールできる。

使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。
詳細は画面の説明をご覧ください。

画面が正しく表示されないとき

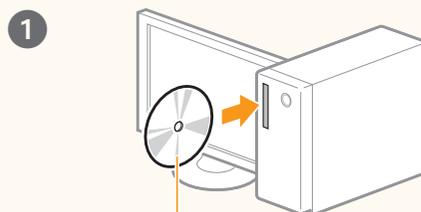
DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:\¥MInst.exe **」を検索する。

** DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

* ドライバーは、キヤノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

Mac

1



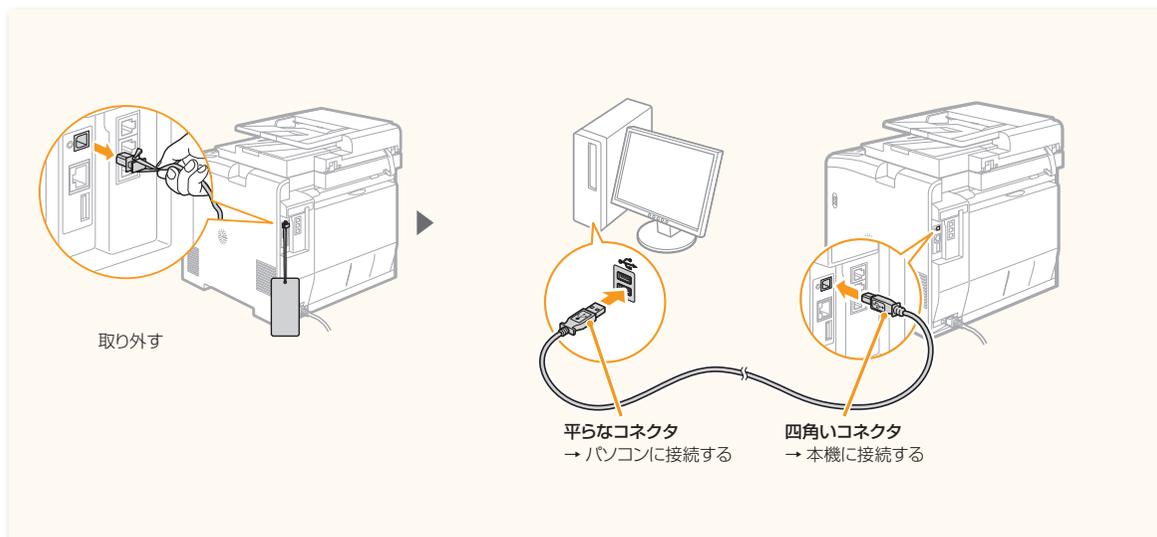
付属のDVD-ROM*を入れ、
画面のDVD-ROMアイコンをダブルクリック

2



- MFドライバーなどのソフトウェアをインストールしたら、USBケーブルを接続する。

2 USBケーブルを接続する



これでUSBによるパソコン接続は終了です! ➡ ファクス設定 (28ページ) へ進む

無線LANで接続しよう

1 まず確認してください

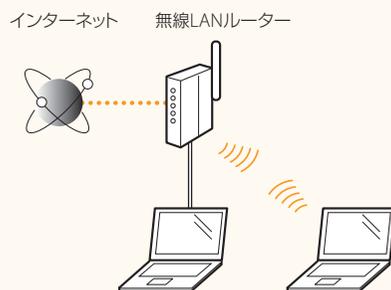
ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。

① パソコンと無線LANルーターは正しくつながっているか？

詳しくはそれぞれの機器に付属している取扱説明書をご覧くださいか、またはメーカーにお問い合わせください。

② パソコン側のネットワーク設定は完了しているか？

設定が正しく完了していないと、以降の手順を行っても無線LANのネットワークでご使用になることができません。



ご注意

- 本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。なお、本機の「ネットワーク設定」は工場出荷時、「有線LAN」に設定されています。
- IEEE802.11 (b/gまたはn)に対応した無線LANルーター（またはアクセスポイント）が必要です。
- セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- オフィスでLAN接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 本書では、複数の無線端末からアクセスされる無線装置を総称して、「無線LANルーター」と呼んでいます。また、「アクセスポイント」とは、無線端末がアクセスする無線LAN上のマスター端末のことです。

2 自分の無線LANルーターを確認する

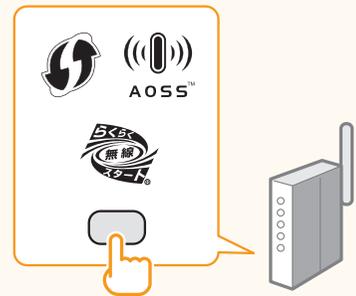
お使いの無線LANルーターにWPS、AOSS、らくらく無線スタートなどといったボタンがあるかどうか確認してください。ボタンのある／なしによって操作が分かれます。

ボタンがある ➔ 22ページへ

本機はWPS (Wi-Fi Protected Setup)、AOSS、らくらく無線スタートに対応しています。無線LANルーターにそのようなボタンがあり、次のマークのいずれかの表示があれば、ボタンを押すだけで簡単に設定することができます。



※ 無線LANルーターがWPS、AOSS、らくらく無線スタート機能に対応しているかどうかがよく分からないときは、無線LANルーター付属の取扱説明書を調べるか、またはメーカーにお問い合わせください。



ボタンがない ➔ 24ページへ

自分でSSID (ネットワーク名またはアクセスポイント名) を選び、ネットワークキー (暗号化キー) を入力します。操作する前に、無線LANルーターを調べてSSIDとネットワークキーをメモなどに書き留めておく必要があります。SSIDとネットワークキーを確認する方法については、「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名)とネットワークキー(暗号化キー)を確認しよう」(24ページ)をご覧ください。



WPSのPIN方式で設定するとき／すべての設定を手動でするとき

- ➔ 電子マニュアル「WPS PINコード方式で設定する」
- ➔ 電子マニュアル「すべて入力して設定する」

3

ボタンがある WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する

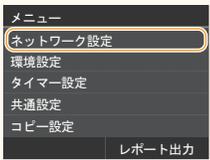
あらかじめ、お使いの無線LANルーターの取扱説明書で設定するときの操作方法を確認しておいてください。

1



ホーム
コピー ファクス
スキャン 写真プリント
アドレス帳 **メニュー**

2



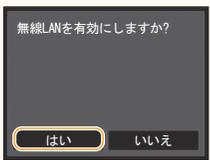
メニュー
ネットワーク設定
環境設定
タイマー設定
共通設定
コピー設定
レポート出力

3



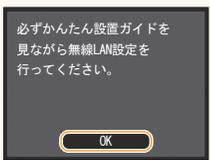
ネットワーク設定
有線/無線LAN選択
無線LAN設定
ダイレクト接続のON/OFF
TOP/IP設定
SNMP設定
専用ポート設定

4



無線LANを有効にしますか?
はい いいえ

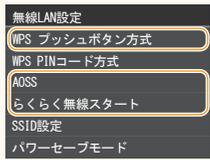
5



必ずかんたん設置ガイドを見ながら無線LAN設定を行ってください。
OK

- メッセージを確認し、<OK>をタップする。

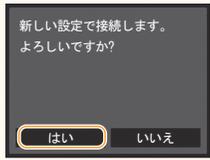
6



無線LAN設定
WPS プッシュボタン方式
WPS PINコード方式
AOSS
らくらく無線スタート
SSID設定
パワーセーブモード

- 無線LANルーターに表示されているマークに対応する項目を選択する。

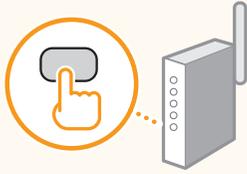
7



新しい設定で接続します。
よろしいですか?
はい いいえ

無線LANルーターに移動する 

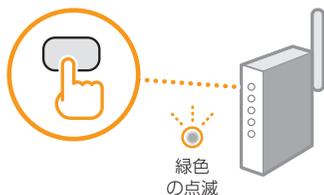
8 WPS / AOSSの場合 



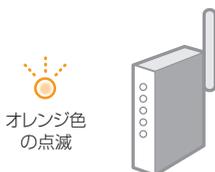
- 7の操作で<はい>をタップしてから、WPSの場合は2分以内に、AOSSの場合は1分30秒以内にボタンを押す。
- ランプが点灯または点滅するまで押し続ける*。

* ボタンを押す時間は無線LANルーターによって異なります。

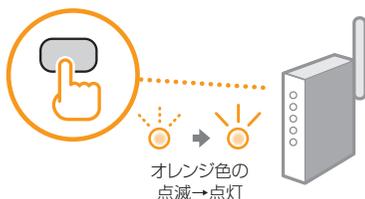
らくらく無線スタートの場合



- 7で<はい>をタップしてから1分以内にボタンを押す。
- POWERランプが緑色に点滅するまで押し続ける。



- ランプがオレンジ色の点滅に変わるのを確認する。

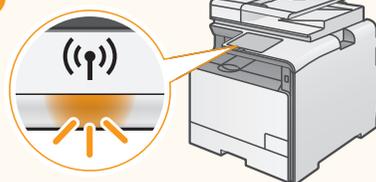


- ランプが点滅から点灯に変わるまで、もう一度押し続ける。

本機に移動する



9



- 「接続しました。」という画面が表示され、Wi-Fiランプが点滅から点灯に変わるのを待つ。

接続したらそのまま約2分間待つ

この間に自動的にIPアドレスが設定されます

27ページへ進む

エラーメッセージが表示されたとき

<OK>をタップして画面を閉じ、手順6からやり直してください。やり直してもアクセスポイントに接続できない場合は、以下を参照してください。

- ➔ 「エラーメッセージが表示されたときは」(34ページ)

IPアドレスを手動で設定する場合

- ➔ 電子マニュアル「IPv4アドレスを設定する」
「IPv6アドレスを設定する」

無線LAN設定が完了しているか確認したいとき

「正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)」(38ページ)でリモートUIの画面が表示されたら、完了しています。

3

ボタンがない SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する

SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) とネットワークキー (暗号化キー) を確認しよう

下記のいずれかの方法で確認の上、右の空欄に書き留めておきます。設定するときの参考にしてください。

無線LANルーターのラベルを確認する



Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント*を使って確認する

* 付属のDVD-ROMに収録されています

▶ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)

● SSID

SSIDはネットワーク名、アクセスポイント名と表記されている場合もあります。SSIDが複数ある場合も、すべて書き留めてください。

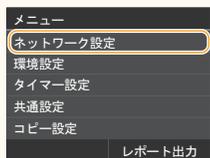
● ネットワークキー

暗号化キー、WEPキー、WPA/WPA2/Pスプレース、PSK、事前共有キーと表記される場合もあります。

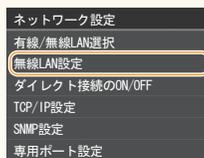
1



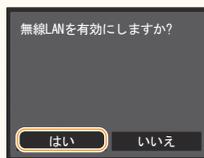
2



3



4



5

必ずかんたん設置ガイドを見ながら無線LAN設定を行ってください。

OK

- メッセージを確認し、<OK>をタップする。

6

無線LAN設定
WPS プッシュボタン方式
WPS PINコード方式
ADSS
らくらく無線スタート
SSID設定
パワーセーブモード

7

SSID設定
アクセスポイント選択
手動入力

「アクセスポイントが見つかりません。」が表示されたとき

- ➡ 「エラーメッセージが表示されたときは」(34ページ)

8

アクセスポイント選択
SSID_01
SSID_02
SSID_03
SSID_04
SSID_05
詳細情報

- メモしたSSIDと一致するものをタップする。
- 一致したSSIDが複数ある場合は、一番上のもの(電波の強いもの)をタップする。

SSIDが見つからないとき

- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)

9

アクセスポイントのネットワークキーの入力に進みます。

10

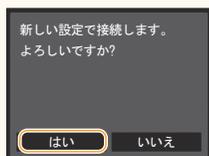
WEPキー (5~26文字)
XXXXXXXXXXXXX
A/a/12 # 確定

1. <aA/12>をタップして入力モードを選択する。
2. テンキーでネットワークキーを入力する。
3. <確定>をタップする。

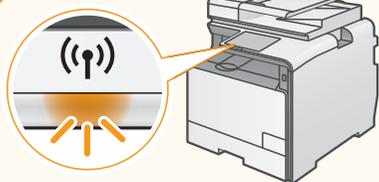
➡ 次のページへ進む

無線LANで接続しよう

11



12



- 「接続しました。」という画面が表示されるので、Wi-Fiランプが点滅から点灯に変わるのを待つ。



接続したらそのまま約2分間待つ
この間に自動的にIPアドレスが設定されます。



 次のページへ進む

エラーメッセージが表示されたとき

<OK>をタップして画面を閉じ、ネットワークキーが正しいか確認し、手順⑥からやり直してください。やり直してもアクセスポイントに接続できない場合は、以下を参照してください。

 「エラーメッセージが表示されたときは」(34ページ)

IPアドレスを手動で設定する場合

 電子マニュアル「IPv4アドレスを設定する」
「IPv6アドレスを設定する」

無線LAN設定が完了しているか確認したいとき

「正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)」(38ページ)でリモートUIの画面が表示されたら、完了しています。

4 ソフトウェアをインストールする

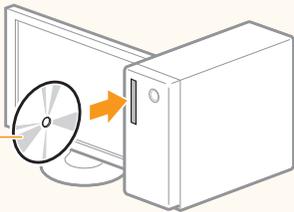
MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

ご注意

ネットワーク環境がIPv6の場合は、この手順でソフトウェアをインストールすることはできません。MFドライバーインストールガイドの「WSDを使用するときのインストール」をご覧ください。

Windows

1



付属のDVD-ROM*

▼

2



Click!

- [選ぶでインストール] を選択すると、読取革命Lite、ファイル管理革命Liteをインストールできる。

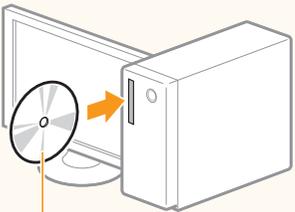
使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。
詳細は画面の説明をご覧ください。

画面が正しく表示されないとき
DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:¥Mlnst.exe**」を検索する。
** DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

* ドライバーは、キヤノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

Mac

1



付属のDVD-ROM*を入れ、
画面上のDVD-ROMアイコンをダブルクリック

▼

2

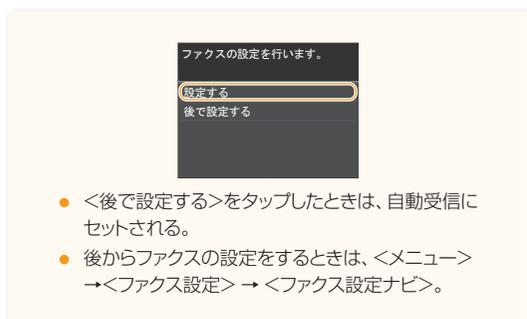
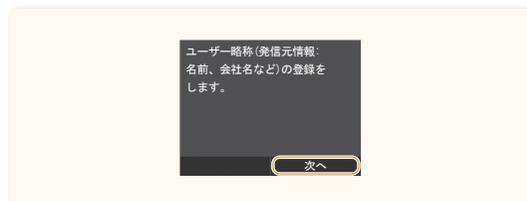


ダブルクリック

これで無線LANによるパソコン接続は終了です! ➡ ファクス設定 (28ページ) へ進む

ファクスの設定をしよう (MF726Cdw)

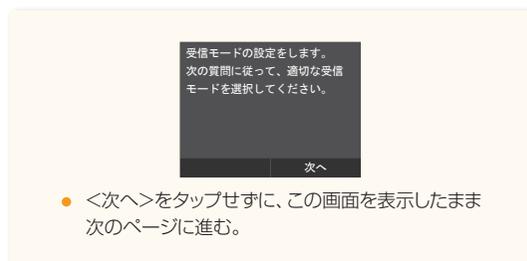
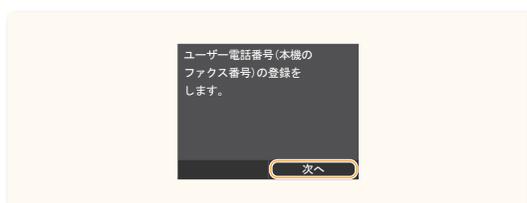
設定1 ファクス番号とユーザー略称を登録する



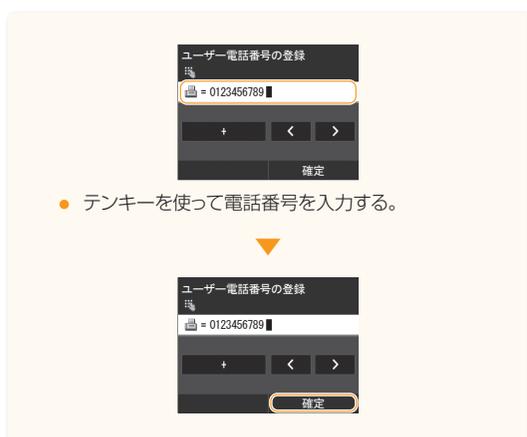
- <後で設定する>をタップしたときは、自動受信にセットされる。
- 後からファクスの設定をするときは、<メニュー> → <ファクス設定> → <ファクス設定ナビ>。



- 「文字を入力する」(51ページ)を参考に、テンキーを使ってユーザー略称を入力する。



- <次へ>をタップせずに、この画面を表示したまま次のページに進む。



- テンキーを使って電話番号を入力する。

登録した情報は相手の出力紙にプリントされる

ここで登録したファクス番号やユーザー略称は、発信元情報として相手の出力紙の上部にプリントされます。



確認しよう どんな用途で使いますか？

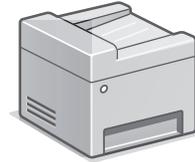
つぎの中から用途に合った受信モードを選びます。受信モードは次の「ファクスの受信モードを設定する」(30ページ)で設定します。

ファクス

ファクスしか使わない／通話はしない

ファクス受信専用ですので通話はできません。お手持ちの電話やオプションのハンドセットは接続しません。

受信モード ⇒ 自動受信



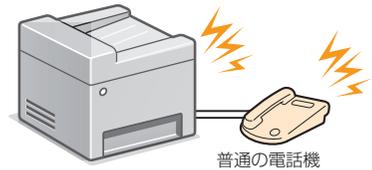
電話

おもに通話する／ファクスはほとんど使わない

お持ちの電話機*を接続して通話します。相手がファクスのときは<ファクス> → <受信スタート>をタップし、受話器を置くと受信できます。

* オプションのハンドセットを使うこともできます。

受信モード ⇒ 手動受信



普通の電話機

電話

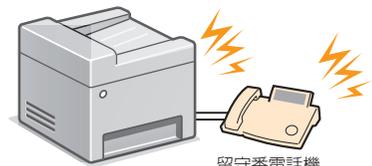
ファクス

通話もファクスも同じ頻度で使う

留守番電話機を使う

お持ちの留守番電話機を接続します。通話はもちろん、不在のときにかかってきた電話は留守録音できます。また、相手がファクスであれば自動的に受信します。

受信モード ⇒ 留守 TEL 接続



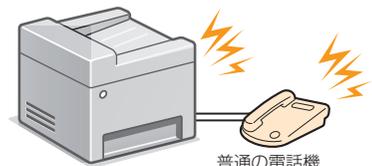
留守番電話機

普通の電話機を使う

お持ちの一般電話機*を接続します。相手がファクスであれば自動的に受信し、電話がかかってきたときは呼び出し音が鳴ります。

* オプションのハンドセットを使うこともできます。

受信モード ⇒ FAX/TEL 切替

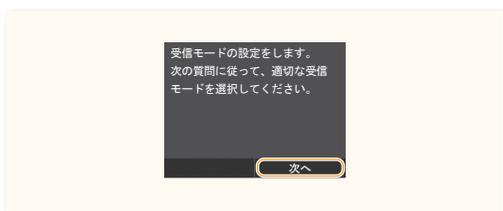


普通の電話機

ファクスの設定をしよう (MF726Cdw)

設定2 ファクスの受信モードを設定する

29ページの「どんな用途で使いますか?」で確認した**受信モード**をここで設定します。



- 自動受信モードにするとき → <はい>
- それ以外の受信モードにするとき → <いいえ>

いいえ ▼

- FAX/TEL切替モードにするとき → <はい>
- それ以外の受信モードにするとき → <いいえ>

いいえ ▼

- 留守TEL接続モードにするとき → <はい>
- 手動受信にするとき → <いいえ>

<自動受信>

はい



<FAX/TEL切替>

はい



<留守TEL接続>

はい



<手動受信>

いいえ

受信モードの設定
受信モード: 自動受信
(ファクスは自動受信します。
電話は使用しません)

再設定 確定

電話線の接続
次の画面のイラストを参考に、
電話線をAに接続してください

次へ

電話線の接続
次の画面のイラストを参考に、
下記1~3の接続を行ってください。
1. 電話線をA
2. 外付け電話線をB

次へ

設定した受信モードによって表示される画面が異なります。

ファクス機能付きの電話機を接続したとき
電話機のファクス受信方法を「自動受信しない設定 (手動受信)」にします。

受信モードを<留守TEL接続>にしたとき
<受信モードの設定>で内容を表示する前に、説明画面が表示されます。内容を確認して<次へ>をタップします。

接続する留守番電話機の留守番
電話機能は、ONにしておいて
ください。

次へ

設定3 電話回線に接続する

間違えて接続するとファクスできません!

NTTのアナログ電話回線へ

必要に応じて接続する

(留守番)電話機

ハンドセット(オプション)

- 接続が終わったら次へをタップする。

電話回線に接続するときのご注意

接続できる電話回線は、一般加入電話回線 (PSTN) です。これ以外の専用電話線を接続した場合は、本機の通信機能が使用できなくなる可能性があります。

光回線やADSLに接続するとき

本機はNTTのアナログ回線規格に準拠しており、光回線やADSLを利用した場合、正しく接続できないことがあります。

👉 「光回線 (ひかり電話) やADSLに接続する」 (41ページ)

ファクス設定ナビを終了しますか?

はい いいえ

設定を終了します。主電源を入れ直してください。

OK

電源を切る

10秒以上待つ

電源を入れる

本機が再起動し、電話回線の種類が自動的に設定されます。

ファクスが送受信できないときは

電子マニュアルをご覧くださいの上、手動で設定してください。

- 👉 電子マニュアル「ファクスする」→「ファクスの設定をする」→「電話回線に接続する」

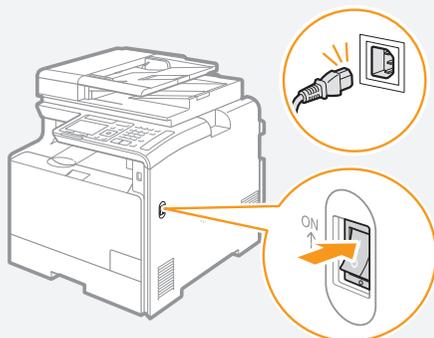
困ったときには

トラブルが解決できないときは

➡ 電子マニュアル「困ったときは」

はじめに次のことを確認してください

ケーブルが正しく接続されているか？
電源が入っているか？



節電モードになっていないか？

節電キーが点灯していたら、操作パネルの節電キーを押して節電モードを解除する



■ こんなときは

アクセスポイント一覧に、接続したい無線LANルーターのSSIDが表示されない

原因 1

24ページにメモした無線LANルーターのSSIDが間違っている。

処置

- 無線LANルーターのSSIDを確認してください。
➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)
- ▼
- 設定をやり直してください。
➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(24ページ)

原因 2

ネットワークの状態に問題があり、本機が無線LANルーターを検出できない。

処置

- ネットワーク接続をチェックしてください。
➡ 「無線LANで接続できないときは」(36ページ)

無線LANルーターのSSIDやネットワークキーが分からない

処置

- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)

リモートUIが表示されない

原因 1

本機のIPアドレスが正しく設定されていない。

処置

- ルーターのDHCP機能を有効にして、設定をやり直してください。
- ➡ ルーター付属の取扱説明書を調べるか、またはメーカーにお問い合わせください。

原因 2

無線LANルーターのネットワークキーが、本機に正しく設定されていない。

処置

- 無線LANルーターのDHCP機能を活かし、設定をやり直してください。
- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)
- ▼
- 設定をやり直してください。
- ➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(24ページ)

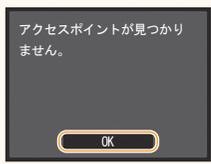
原因 3

間違ったSSIDを選択している。

処置

- 無線LANルーターのSSIDを確認してください。
- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(39ページ)
- 設定をやり直してください。
- ➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(24ページ)

■ エラーメッセージが表示されたときは



アクセスポイントが見つかりません。

OK

処置1

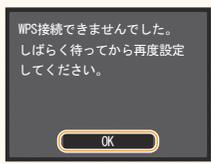
- 制限時間内に無線LANルーターのプッシュボタンを押さなかった可能性があります。再度正しい手順で設定を行ってください。

処置2

- 正しいSSIDを入力しなかった可能性があります。再度無線LANルーターのSSIDを確認し、設定を行ってください。

それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(36ページ)で確認してください。それでも解決しない場合は、無線LANルーターのセキュリティー設定を確認してください。



WPS接続できませんでした。
しばらく待ってから再度設定してください。

OK

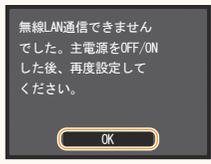
処置

1. ご使用の無線LANルーターがWPS機能に対応しているか確認してください。
2. **対応している場合**

「無線LANで接続できないときは」(36ページ)で確認してください。

対応していない場合

手動で設定をやり直してください(24ページ)。



無線LAN通信できません
でした。主電源をOFF/ON
した後、再度設定して
ください。

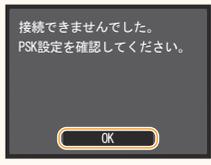
OK

処置

- 本機の電源をいったん切り、再度電源を入れた後、設定をやり直してください。

それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(36ページ)で確認してください。それでも解決しない場合は、無線LANルーターのセキュリティー設定を確認してください。



接続できませんでした。
PSK設定を確認してください。

OK

処置

- 正しいネットワークキーを確認して、設定をやり直してください。

それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(36ページ)で確認してください。

オープンシステム認証が
できませんでした。
WEP設定を確認してください。

OK

処置

- 正しいネットワークキーを確認して、設定をやり直してください。

それでも表示される場合は…

無線LANルーターのWEPの認証方式を「共有 (Shared Key)」に変更するか、本機のWEPの認証方式を「オープンシステム」に変更してください。

※ <オープンシステム>に変更するためには、すべての設定を手動で行う必要があります。

➡ 電子マニュアル「すべて入力して設定する」

AOSS接続できませんでした。
しばらく待ってから再度設定
してください。

OK

らくらく無線スタートでの接続
できませんでした。
しばらく待ってから再度設定
してください。

OK

処置1

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。

処置2

1. ご使用の無線LANルーターがAOSSまたはらくらく無線スタート機能に対応しているか確認してください。

2. 対応している場合

「無線LANで接続できないときは」(36ページ)で確認してください。

対応していない場合

AOSSまたはらくらく無線スタート機能対応の無線LANルーターを使って再接続してください。

■ 無線LANで接続できないときは

本機がネットワークに接続できる状態か、以下の項目を確認してください。

1



パソコンの状態を確認する

- パソコンと無線LANルーターの設定は完了していますか？
- 無線LANルーターのケーブル類（電源ケーブルやネットワークケーブルなど）が抜けていませんか？
- 無線LANルーターの電源が入っていますか？

それでもなおインターネットに接続できない場合は…

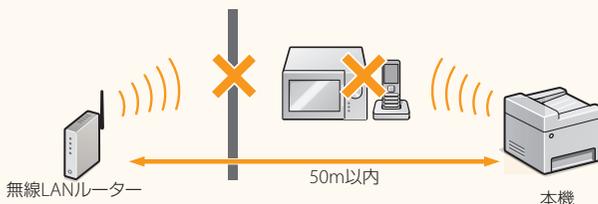
- 各機器の電源をいったん切り、電源を入れなおしてください。
- 少し時間をおいて、再度インターネットに接続できるか確認してください。

2



本機と無線LANルーターの設置場所を確認する

- 本機と無線LANルーターの距離が離れすぎていませんか？
- 本機と無線LANルーターの間に壁などの障害物がありませんか？
- 近くに電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器がありませんか？



3



以下の設定をしなおす

- ➡ 「WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する」(22ページ)
- ➡ 「SSID(ネットワーク名/アクセスポイント名)を選んで設定する」(24ページ)

➡ それでも接続できない場合は、次のページへ進む

無線LANルーターの設定をチェックしてください

以下の場合は、手動入力で設定してください。👉電子マニュアル「すべて入力して設定する」

- ステルス機能*がオンになっている
- ANY 拒否**がオンになっている
- 「WEPキー 2」～「WEPキー 4」にWEPキーを設定しているにもかかわらず、「WEPキー選択」で適切な番号を選択していない
- 自動生成したWEPキー（16進数）が設定されている

* 無線LANルーターのSSIDを他の機器が自動検出できないようにする機能。

** 他の機器がSSIDを「ANY」または「空白」に設定している場合、無線LANルーターが接続を拒否する機能。

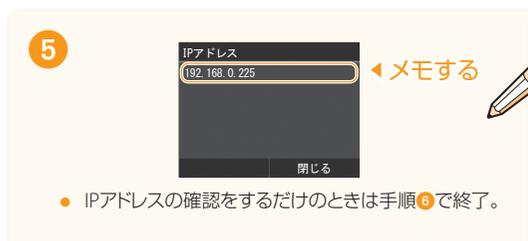
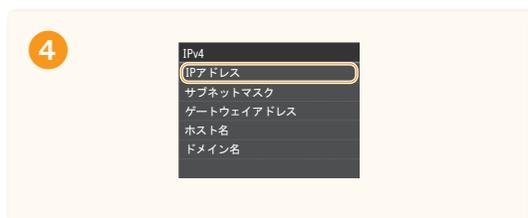
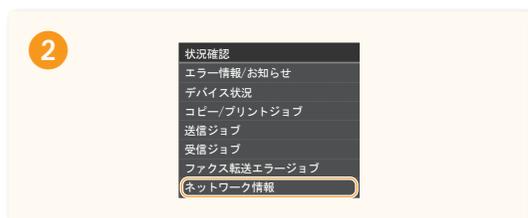
以下の場合は、無線LANルーター側の設定を変更してください。

- MACアドレスフィルタリングが設定されている
- IEEE802.11nのみで通信している状態で、WEPまたは暗号化方式をTKIPに設定している場合

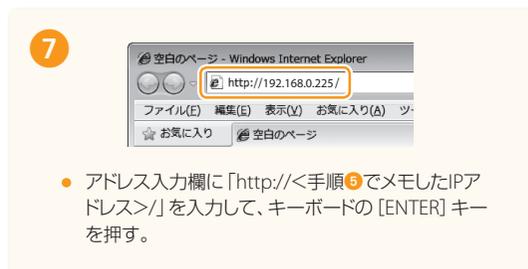
無線LANルーター側の設定や操作については無線LANルーターの取扱説明書を参照するか、無線LANルーターのメーカーにお問い合わせください。

付録

■ 正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)



パソコンのウェブブラウザを起動する

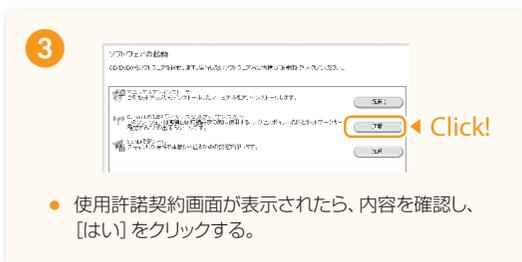
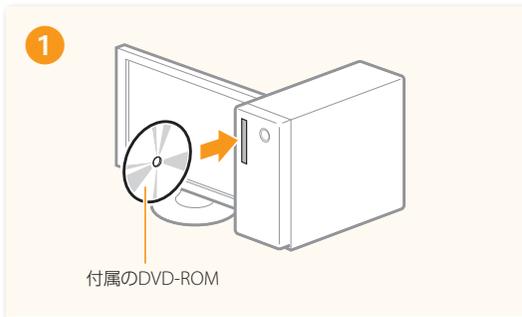


画面が正しく表示されないとき

- ➡ 「リモートUIが表示されない」 (33ページ)

■ 無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する

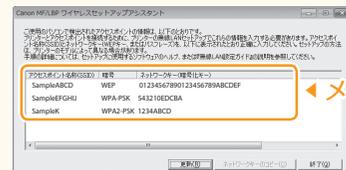
無線LANで接続されたパソコンからなら、付属のDVD-ROMに収録されている「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」を使用して無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認することができます。



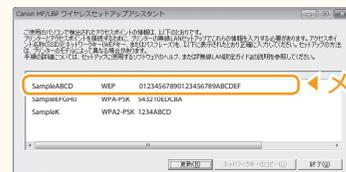
- アクセスポイント名称 (SSID) とネットワークキーを24ページにメモして、設定を続ける。

複数のアクセスポイントが表示されたとき

1. 表示されたSSIDをすべてメモする。



2. 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(24ページ)の手順⑥までの操作を行う。
3. 手順⑧で本機のディスプレイに表示されたSSIDから、メモしたSSIDと一致するものを選択する。
4. 選択したSSIDのネットワークキーをメモする。



5. 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(24ページ)の手順⑨以降の操作を行う。

無線LAN ルーターが表示されないとき

- 「更新」をクリックする。
- 「更新」をクリックしても情報が表示されないときは、パソコンと無線LAN ルーターの設定が完了しているか確認する。

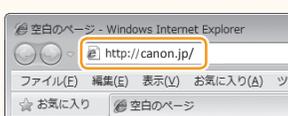
➡ 25ページの手順⑩へ戻る

■ 特殊環境の無線LANルーターの情報を確認する

(BUFFALO社製無線LANルーター／Mac)

BUFFALO社製の無線LANルーターまたはMacをお使いの場合は、キャノンホームページで無線LANルーターの情報を確認することができます。

1



ウェブブラウザのアドレス入力欄に「http://canon.jp/」を入力して、キーボードの [ENTER] キーを押す。

2



“サポート” をクリックする。

3



“Q&A検索 (よくあるご質問)” をクリックする。

4



1. “SSID” と入力
2. Click!

5



“小型オフィス向け複合機” をクリックする。

6



選択! — アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Windows) (Mac)

選択! — アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Mac)

必要に対する項目を選択する。

- BUFFALO社製無線LANルーターの情報を確認する場合 “アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Windows)” を選択する。
- Macで無線LANルーターの情報を確認する場合 “アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Mac)” を選択する。

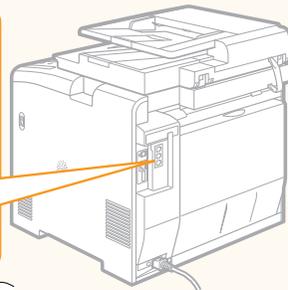
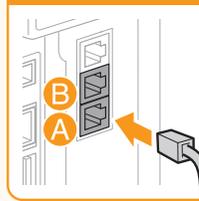
情報を確認するためのコンテンツが表示されます。

■ 光回線（ひかり電話）やADSLに接続する

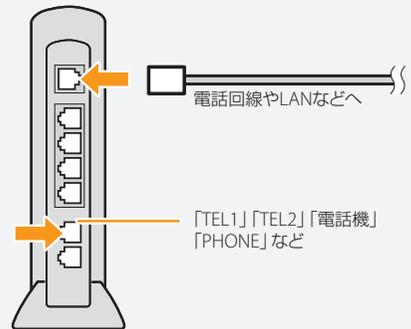
本機はNTTのアナログ回線規格に準拠しているため、光回線やIP電話回線などを利用した場合、**接続環境や接続機器によっては正しく動作しないこともあります**。この場合は、光回線やIP電話の事業者にお問い合わせください。また、詳しい接続のしかたについても、光回線やADSLの事業者にお問い合わせください。ここでは接続例を示します。

（接続例）

間違えて接続すると
ファクスできません！



- VoIPアダプタ（ルータ）
- ひかり電話対応機器
- 050IP電話対応機器
- ADSLモデム



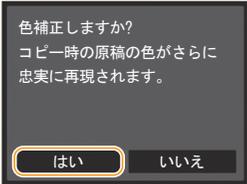
サービス名称や機器名称は事業者によって異なります。

* ADSL接続の場合はスプリッタ（市販品）などが別途必要となることがあります。

■ 色補正をする

より原稿に近い色や濃度でコピーや印刷ができるように、色補正をすることをおすすめします。

1

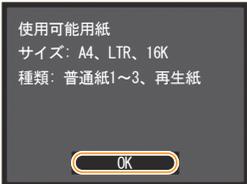


色補正しますか?
コピー時の原稿の色がさらに
忠実に再現されます。

はい いいえ

- 初期設定中に上の画面が表示されたら、<はい>をタップする。

2

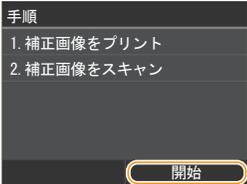


使用可能用紙
サイズ: A4、LTR、16K
種類: 普通紙1~3、再生紙

OK

- 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認する。

3



手順
1. 補正画像をプリント
2. 補正画像をスキャン

開始

- 作業の流れを確認したら、<開始>をタップする。

4



手順1
補正画像プリント中

色補正 (補正画像1)
黒側を奥に原稿台が裏面にセット

- 補正が始まり、1～2分後に補正用の画像が印刷される。

5



- プリント中の画面が消えたらフィーダーを開け、補正画像が印刷されている面を下向きにして原稿台ガラスにセットし、フィーダーを閉じる。
- 黒の帯を奥にしてセットする。

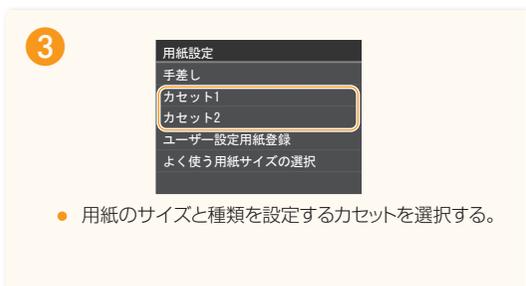
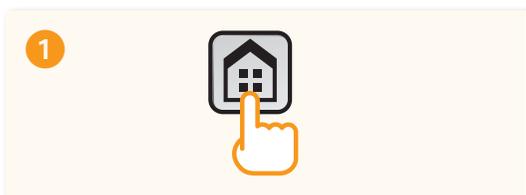


「補正に失敗しました。」が表示されたとき

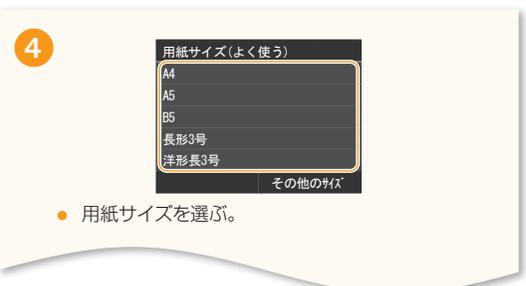
- 用紙は正しくセットされていますか?
→ A4 / レターサイズの普通紙または再生紙を給紙カセットにセットしてください。
- 補正用の画像は正しくセットされていますか?
→ 補正画像が印刷されている面は下向きで、黒の帯を奥にして原稿台ガラスにセットします。
- 紙がつまっていませんか?
→ つまった用紙を取り除いてください。
色補正をやりなおすときは、<メニュー>をタップして、以下の項目を順に選択してください。
<調整/メンテナンス> → <自動階調補正> → <コピー画像補正>

■ A4サイズ以外の用紙をセットする

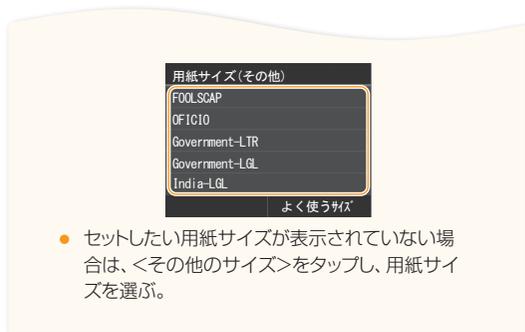
A4サイズ以外の用紙をセットするときは、「用紙をセットしよう」(8ページ)の手順に従ってセットし、初期設定をすべて終えてから、用紙のサイズと種類を設定してください。



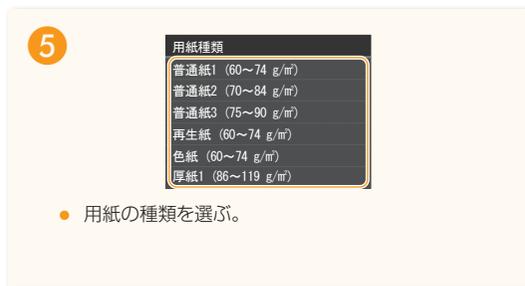
- 用紙のサイズと種類を設定するカセットを選択する。



- 用紙サイズを選ぶ。



- セットしたい用紙サイズが表示されていない場合は、<その他のサイズ>をタップし、用紙サイズを選ぶ。



- 用紙の種類を選ぶ。

Memo

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、本書と電子マニュアルの「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

ここに書かれている警告や注意、重要事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。本書の記載にしたがわない使いかたをする、不適切な使いかたをする、弊社以外の第三者または弊社指定以外の第三者によって修理／変更する、などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について



警告

- ・ アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
- ・ アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。
万一、内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・ 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。



注意

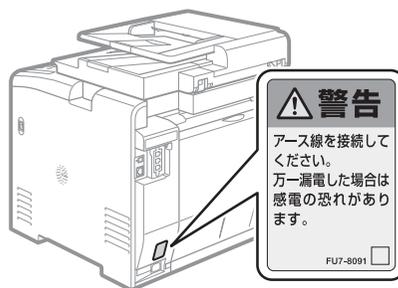
- ・ 次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。
 - 不安定な場所
 - 振動のある場所雨や雪が降りかかるような場所
 - 通風口をふさぐおそれのある場所
(壁の近く、ベット・ソファ等・毛足の長いじゅうたんの上など)
 - 湿気やホコリの多い場所
 - 屋外や直射日光の当たる場所
 - 高温になる場所
 - 火気に近い場所
 - 風通しの悪い場所
- ・ 使用中はオゾンなどが発生しますが、人体に影響ありません。ただし、長時間使用したり大量にプリントしたりする場合は、快適な作業環境を保つために換気してください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。
- ・ 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ ハードディスクを搭載している製品は、高地(海拔3000 m以上)で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について



警告

- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
 - ・ 電源コードを傷つける、加工する、引っばる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - ・ タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 電源コンセントのアース線端子*に、アース線を接続してください。万一、漏電した場合は感電の恐れがあります。
- *アース線専用端子がない場合は、接地工事(D種)が行われているアース線端子に接続します。



- ・ 次の場所には絶対に接続しないでください。
 - 水道管…配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管は除きます。
 - ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
 - 電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- ・ 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になります。



注意

- ・ 表示以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 非常時にすぐ電源プラグが抜けるよう、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

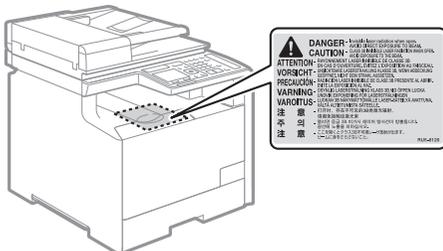
取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険です。
- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危険です。
- 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するとき手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続プリントした場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- フィーダーと操作パネル部は、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザーユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
 - 取扱説明書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
 - 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起る原因になることがあります。
 - レーザーユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。



- 取扱説明書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。
- この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1 レーザー製品であることを確認しています。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投げないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は、幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり、皮膚に付着しないよう注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って洗い流してください。また、トナーを吸い込んだ場合や、皮膚に刺激が残る場合は直ちに医師に相談してください。

その他

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
本機からは微弱な磁気を発生しています。万一、身体に異常を感じたら本機からすぐに離れ、医師にご相談ください。

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制にしたがって、以下の()内の名称で登録されている場合があります。

Satera MF726Cdw (F167802)

Satera MF722Cdw (F167800)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりする、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

- ・ 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。
- ・ 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。
 - ・ 紙幣、貨幣、銀行券(外国のものを含む)
 - ・ 国債証券、地方債証券 ・ 郵便為替証書
 - ・ 郵便切手、印紙 ・ 株券、社債券 ・ 手形、小切手
 - ・ 定期券、回数券、乗車券 ・ その他の有価証券
- ・ 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。
 - ・ 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
 - ・ 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
 - ・ 役所または公務員の印影、署名または記号
 - ・ 私人の印影または署名

【関係法律】

刑法、著作権法、通貨及証券模造取締法、外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券、証券偽造変造及模造ニ関スル法律、郵便法、郵便切手類模造等取締法、印紙犯罪処罰法、印紙等模造取締法

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

商標

MacおよびMac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Windows および Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ファイル管理革命Lite、読取革命Litelは、パナソニックソリューションテクノロジー(株)の登録商標、または商標です。

「AOSS™」は株式会社パツファローの商標です。

らくらく無線スタートはNECアクセスステクニカ株式会社の登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Portions of this software are copyright © 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

著作権

Copyright CANON INC. 2015

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段(電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式/手段を含む)をもって、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピューター言語への変換などを行うことはできません。

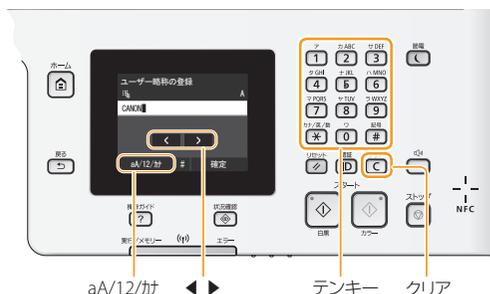
Memo 

A large, empty rectangular box with a thin grey border, intended for writing a memo.

Memo

文字を入力する

設定や登録のとき、文字や数字を入力しなければならないことがあります。このときは、タッチパネルとテンキーを使って入力します。



使うテンキー	入力モード (切り替えかたは下を参照)		
	<カナ>	<aA>	<12>
1	アイロアイウエ	@_/_/	1
2	カキクコ	ABCabc	2
3	サシセソ	DEFdef	3
4	タツテト	GHIghi	4
5	ナニネノ	JKLjkl	5
6	ハヒフホ	MNOmno	6
7	マミムメ	PQRSpqrs	7
8	ヤヨヤユ	TUVtuv	8
9	ラリルロ	WXYZwxyz	9
0	ワヲ	(入力不可)	0
#	゛ (濁音) ゜ (半濁音) - (ハイフン)	(スペース) - . * # ! , ; : ^ ` _ = / ? \$ @ % & + ¥ ^ () [] { } < >	(入力不可)

入力モードを切り替えるには

入力モードにはカタカナを入力する<カナ>、アルファベットや記号を入力する<aA>、数字を入力する<12>の3種類があり、初期状態では<カナ>にセットされています。入力モードを切り替えるときは、<aA/12/カ>をタップします。タップするたびに入力モードが替わります。

カーソルを移動する

◀または▶をタップするとカーソルが移動します。

スペースを入力する

文字の最後にカーソルを合わせて▶をタップすると、スペースが入力されます。

入力した文字を削除する

ⓐを押すと文字が削除されます。そのまま押し続けるとすべての文字が削除されます。

お問い合わせは

まず、かんたん操作ガイドや電子マニュアルを参照してください。それでも問題が解決しない場合、または点検が必要と考えられる場合にご連絡ください。

お客様相談センター

050-555-90024

(全国共通)

平日 9:00 ~ 18:00 / 土曜日 9:00 ~ 17:00

1月1日 ~ 1月3日を除く

※ 上記番号をご利用できない場合は043-211-9627をご利用ください。IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

※ 受付時間は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

付属ソフトウェアについての お問い合わせは

「読取革命Lite」と「ファイル管理革命Lite」はパナソニックソリューションテクノロジー株式会社の製品です。

お問い合わせ先については、各ソフトウェアの取扱説明書およびReadmeをご覧ください。

Canon

キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



FT6-1253 (000)

XXXXXXXXXX

Copyright CANON INC. 2015

PRINTED IN CHINA